

延岡高校 (MS科1年生・83名) 「探究するということ」

令和6年4月22日(月) 14:50~15:50

延岡高校(MS科)の1年生が、標記のテーマで講話を聞きました。講師は水永正憲さん(延岡市キャリア教育支援センター長)です。

水永さんは、冒頭、今からの世の中に求められる人財とはどんな人財だろうと、生徒に投げかけられました。その答えとして、「変わることができる人」つまり、「新しいことに挑戦できる人」と話されました。そして、「今からの時代は、答えのない問題に 答えを見出す力を培わなくてはならない。探究学習は、その力をつける練習になる」と説明され、本題に入られました。

本題では、「旭化成の変革と挑戦」「本質を見極める」「探究とは何か、今求められているものは何か」など、生徒たちがこれから取り組んでいく探究学習の基になる内容のお話でしたので、一人一人が真剣な表情で講話に聞き入っていました。

以下、主な講話の内容をご紹介します。

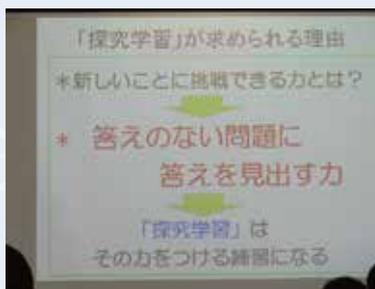
- 探究とは、アイデアの列挙ではない、問を立て、仮説を立て、検証すること、そして、正解のない問題を考えること。
- 自分で調べてみる(聞いてみる、行ってみる、読んでみる)、自分の意見を他人に伝えてみる、異論、批判を受けた方が広がる(反対意見があった方が解決に結びつく)。
- 探究学習を行う上で大事なことは、おもしろいと思えるところまで考えなくてはならない。
- 幸せとは何か。経済成長ではない価値、幸せについても学習を行いながら考えてほしい。



【水永 正憲さん】



【講話の様子】



岡富中学校 (1年生・116名 ※現2年生) よのなか教室 「はたらくことは、どんなこと？」

令和6年3月19日(火)

13:55~14:45



【細川 真由美さん】

岡富中学校の1年生(現2年生)が、細川 真由美さん(キャリアコンサルタント)から「はたらくことは、どんなこと」というテーマで講話を聞きました。

細川さんは、初めに「将来、働きたいか」「働きたくないか」という違う立場での質問をされました。この質問に対して、生徒だけではなく、先生方もそれぞれの立場で質問に答えておられました。「働きたい」と思っている生徒は、「お金を稼ぎたい」「親孝行したい」「お客様の笑顔が見たい」など、「働きたくない」と思っている生徒は、「面倒くさい」「好きなことをしたい」など、違う立場の意見を発表し合い、お互いの主張を聞くことで、考えや気持ちの違いに気付いたようです。

その後、ワークシートや資料を活用して演習を行い、「働くということ」や「働くことで得られるもの」など、生徒は「勤労観」について、自分なりに考えをまとめていきました。

～生徒の感想より(一部抜粋)～

私は、将来の夢について、よく分からないことばかりでしたが、細川さんのおかげで知らなかったことも知れました。私の夢は、医療関係の仕事で、難しい資格を取らないといけないということもあり、ほぼ、あきらめていた時もありました。でも、今回、講話を聞いて、「やるかやらないか迷っていたら、やった方が後悔はあまりすることはない」という言葉を聞いて、ちゃんとやってみようというやる気が出てきました。

これから夢に向かってがんばりたいと思います。



【講話を聞く生徒たち】

おしえて!よのなか先生(ビデオメッセージ)を視聴して!!

今回、キャリア教育支援センターが作成している「ビデオメッセージ」を視聴しての感想等について、お話を伺いました。お話をしてくださったのは、**稲葉 涼太先生(東海小学校)**です。以下、インタビューの内容です。



【稲葉 涼太先生】



Q ビデオメッセージをどのように活用されましたか？

A 東海小の6年生は、昨年度(3学期)、総合的な学習の時間に「未来の自分を描こう」という単元で学習を行いました。「経験が少なく、社会を知らない子どもたちに刺激を与えて、今を大切に生きる活力をつけてほしい」「卒業を控えた今、自分の将来について考えてほしい」という思いがあり、身近な地域で活躍している大人の生き方や考え方、人生経験を知ることができる「おしえて!よのなか先生」の動画を見せる機会をつくりました。

子どもたちは、「将来に役に立つ生き方や考え方のヒントになることを見つける」という視点をもって、自分の興味のある「よのなか先生」の動画を見たり、職業調べをしたりして、自分の将来について考えを深めていきました。

ビデオメッセージは、7分にまとめてあり、教師が語れない他の大人の生き方、考え方などに触れることができるので、視聴して良かったと思います。

Q ビデオメッセージを視聴した後の子どもたちの反応や様子はどうでしたか？

A 子どもたちは、動画を見て、今の自分とつなげて考えることができていました。夢を叶えるために、今自分に足りないことや、これまでに無かった考え方を学ぶことができました。

～子どもたちの感想より～

いろんな人の話を聞くと、やっぱり全部共通して言えることは、何事にも前を向いてあきらめないことが大切だと分かった。

ぼくは、将来、声優になろうと思っている。だけど、自分が本当に声優なんてできるのかと自信をなくしてしまう。でも人生は一度きり、やらないで後悔するより、やって後悔する人生のほうがよいと思う。

声優になるには様々な困難があると思うけど、夢を実現するために、何事にもくじけず、あきらめないで、前へ前へどんどん進んで行く力をつけたいと思う。

稲葉先生は、最後に、「次回は、ビデオメッセージに登場された『よのなか先生』に実際に学校に来ていただき、直接話をしていただくことができれば、子どもたちにとって、よりよいキャリア形成につながるのではないかと思います。」と話されていました。

稲葉先生、インタビューのご協力、ありがとうございました。

～キャリア教育実践交流会～

今回は、2学期に行う予定です。改めてご案内いたしますので、ご参加よろしく願いいたします。



延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0053 宮崎県延岡市幸町3丁目101番地 延岡駅西口街区ビル3階 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682

水永正憲 ☎ 080-4002-8167

✉ mizmas228@gmail.com

敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539

✉ sate815@ma.wainet.ne.jp

酒井康行 ☎ 090-2587-7837

✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp